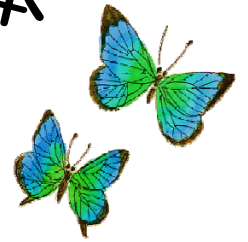


図書館員が選ぶおすすめの本 ～幼児向け（3,4,5歳）～



絵本の読み聞かせは、お子さんの心や言葉を育てます。3歳くらいになるとストーリーのあるお話もわかるようになり、絵本読み聞かせ黄金期！ともいえます。

寝る前は読み聞かせをするなど、親子で本を楽しむ時間をぜひ作ってください。

「やさいのおなか」

きうち かつ // さく・え 福音館書店



やさいをきってでてくる
いろいろなかたち。
「これなあに」。
なんのやさいかわかるかな？

「どこがながいか わかる？」

みやにしたつや // 作・絵 金の星社



キリン、ゾウ、ヘビ……。
からだのどこがながい
いきもの。
どこがながいかな？

「みずたまレンズ」

今森光彦 // さく 福音館書店



あめがふったあとの はつぱに
キラキラひかるみずたま。
みずたまのレンズをのぞいて
みると、おおきくみえたり
ちいさくみえたり……。
とつてもふしぎなみずたまの
レンズ。

「いろいろおせわになりました」

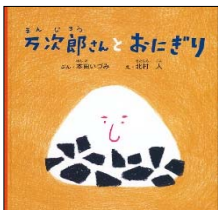
わらべうたの「おちやをのみにきてください」より
やぎゆう げんいちろう // さく 福音館書店



「おーちやをのーみにきてください」
とうとうと、いろんなともだちがあそ
びにくるよ。
えもよーくみてごらん。
なにかがかわってるの、みつか
るかな？

「まんじろう 万次郎さんとおにぎり」

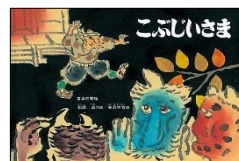
本田いづみ // ぶん 北村 人 // え 福音館書店



万次郎さんの たんぽで、おこめが
たくさんできました。それをたいて
つくった10このおにぎり。おにぎり
たちは「ころがって おもてへ とびだ
していきました」。「まてえ」、ああ、
おにぎりたちは どこへ いく？

「こぶじいさま 日本の昔話」

松居 直 // 再話 赤羽末吉 // 画 福音館書店



ひたいにおおきなこぶのあるじ
いさまが やまのなかのおどうに
とまったよる。
やまおくからおにどもが やってき
ておどうをかこみ、うたいおどり
ながらまわりはじめました。
それをみたじいさまは……。

「しょうぼうじどうしゃ じぶた」

渡辺茂男 // さく 山本忠敬 // え 福音館書店



はしごしゃの のっぽくん、
こうあつしゃの ぱんぷくん、
きゆうきゆうしゃの いちもくさん
は
いつも だいかつやく。
じぶたは「ちびっこ」あつかい
だったけど、あるひ……。

「どろんこハリー」

ジーン・ジオン // ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム // え
わたなべしげお // やく 福音館書店



ハリーはくろいぶちのあるしろいいぬ。
おふろが だいきらいで、にげだします。
かえってきたときにはよごれてよごれて、
しろいぶちのあるくろいいぬに。
だれもハリーだと きづきません！
そこでハリーは……。

※対象年齢は目安です。

